

【2024 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
地域連携の理論と実際	HLA11-030	選択	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
坂本 宏史	D305	sakamoto	木曜日 10:00~12:40		
授業の目的・概要	<p>大学生としての教養と地域行政についての知識を身に着けるため、地域の諸問題や地域連携の実例を学び、今日的課題への取り組み方を考える。専門職を目指す者としてのコミュニケーション能力を養う。</p> <p>富士河口湖町と大学との連携を基礎に、地域行政の専門家や、実際に地域おこしにかかわっている団体の代表を講師に招き、地域づくり、保健・医療・福祉の実際などについて紹介し、地域や住民の持つ今日的課題について解説してもらおう。各回講義終了後小テストまたは小レポート課題を行い、結果について解説し理解を深める。</p> <p>後半では、グループワークにより、講義から抽出した課題について自分たちで調査・研究し、その成果を発表する。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	地域行政、地域おこしに実際に係る専門家から直接話を聞くことができる貴重な機会であるので、質疑などを積極的に行ってほしい。				
教科書	特に指定しない。 担当講師が資料を配布する。				
参考書	特に指定しない。				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	富士河口湖町の地域特性や保健・医療・福祉分野等における課題や問題解決のための取り組みや具体的な活動について理解することができる。			HSU(1)、(2)、(3)、(6)	
②	地域行政における多種の専門職それぞれの役割を理解できる。さらに職種間連携について考えることができる。			HSU(1)、(2)、(5)	
③	地域おこし（地域の活性化）の実際と課題を理解できる。			HSU(1)、(2)、(5)	
④	個々の学生が、今日的課題について主体的に考え、調査し、発表の準備・実践できる。			HSU(1)、(2)、(5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間（時間）	
1	富士河口湖町における行政を学ぶ。 地域行政の概要について、富士河口湖役場政策企画課職員が講義する。質疑応答	[坂本] 9月10日	対面授業	講義後出題される小テストに解答する。講義から、課題を抽出し整理する。	4
2	地域行政の取り組みの実際と課題(1) 「地域おこし協力隊事業」についての講義を聴く。質疑応答	[坂本] 9月17日	対面授業	講義後出題される小テストに解答する。講義から、課題を抽出し整理する。	4
3	地域行政の取り組みの実際と課題(2) 富士河口湖町における行政現場での取り組みの現状と課題について学ぶⅠ—富士河口湖役場福祉推進課職員が講義する。質疑応答	[坂本] 9月24日	対面授業	講義後出題される小テストに解答する。講義から、課題を抽出し整理する。	4
4	地域行政の取り組みの実際と課題(3) 富士河口湖町における行政現場での取り組みの現状と課題について学ぶⅡ—富士河口湖役場健康増進課職員が講義する。質疑応答	[坂本] 10月1日	対面授業	講義後出題される小テストに解答する。講義から、課題を抽出し整理する。	4
5	地域行政の取り組みの実際と課題(4) 富士河口湖町における行政現場での取り組みの現状と課題について学ぶⅢ—富士河口湖役場生涯学習課職員が講義する。質疑応答	[坂本] 10月8日	対面授業	講義後出題される小テストに解答する。講義から、課題を抽出し整理する。	4
6	地域行政の取り組みの実際と課題(5) 「地域おこし協力隊事業（富士河口湖町本栖地区の活性化）」についての講義を聴く。質疑応答	[坂本] 10月15日	対面授業	講義後出題される小テストに解答する。講義から、課題を抽出し整理する。	4
7	地域連携の実際(1) 地域社会における女性の活躍の事例を通してこれからの地域振興のあり方を講義する。	[堤・坂本] 10月22日	対面授業	講義後出題される小レポートを提出する。講義から、課題を抽出し整理する。	4
8	地域連携の実際(2) 地域社会における家族の変化と地域連携について事例を通して講義する。	[堤・坂本] 10月29日	対面授業	講義後出題される小レポートを提出する。講義から、課題を抽出し整理する。	4

【2024 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

9	地域連携の実際(3) 地域の観光振興と具体的な観光事業のあり方について事例を通して講義する。	[堤・坂本] 11月5日	対面授業	講義後出題される小レポートを提出する。講義から、課題を抽出し整理する。	4		
10	地方行政/地域連携に関わる課題の調査・研究発表準備	[坂本] 11月12日	グループワーク	課題の調査	4		
11	地方行政/地域連携に関わる課題の調査・研究発表準備	[坂本] 11月19日	グループワーク	課題の調査	4		
12	地方行政/地域連携に関わる課題の調査・研究発表準備	[坂本] 11月26日	グループワーク	課題の調査	4		
13	地方行政/地域連携に関わる課題の調査・研究発表準備	[坂本] 12月3日	グループワーク	課題の調査	4		
14	調査・研究発表会①	[坂本] 12月10日	グループワーク	他のグループ発表の評価	4		
15	調査・研究発表会②	[坂本] 12月17日	グループワーク	他のグループ発表の評価	4		
試	期末試験は行わない 達成度評価、評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		48	16	36	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	36	4	6	0	0	46
	思考・推論・創造する力	6	4	6	0	0	16
	協調性・リーダーシップ	0	0	6	0	0	6
	発表・表現伝達する力	0	4	6	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	6	0	0	6
	取組みの姿勢・意欲	0	2	0	0	0	2
	問題を発見・解決する力	6	2	6	0	0	14
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点			フィードバックの方法		
試験	①	✓	講義〔地域行政の取り組みの実際と課題(1)~(6)〕終了時に、内容についての小テスト(クイズ)を出題する。各8点、小計48点満点(全体の48%)		対面講義時間内に Teams 上で出題する。採点后返却する。講義内(第10)に講評をおこなう。		
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	講義〔地域連携の実際(1)~(3)〕終了時に、専門家の講話をまとめ、感想を記述する(3回)各8点、小計24点満点(全体の24%)		レポートの添削・評価をして返却する。		
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	発表のテーマと内容について、客観性、論理性、独自性、発表技術を、ルーブリックを用いて評価する(30点満点)。さらに、学生間の評価(6点満点)を加え、36点満点とする(全体の36%)		結果の講評を Teams 上で行う。		
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						

【2024 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

備 考	
他 担 当 教 員	堤 美智、特別講師〔倉澤 芳樹（富士河口湖町政策企画課）、宮下 みほ（富士河口湖町福祉推進課）、和光 勇介（富士河口湖町健康増進課）、杉本 悠樹（富士河口湖町生涯学習課 学芸員）、植野 景吾（地域おこし協力隊）、中原 崇（元地域おこし協力隊）、堤 マサエ（山梨県立大学名誉教授）、船木 上次（萌木の村株式会社 代表取締役）〕
教員の実務経験	富士河口湖役場で町の行政を担当する職員や、地域おこしを実践している元役場職員（地域おこし協力隊）、八ヶ岳南麓の活性化に尽力している団体の代表 船木 上次 氏、家族社会学の専門家 堤 マサエ 氏を特別講師として迎える。また専任講師の堤 美智 准教授は、地域経済の振興についての専門家で、国内外の事情に詳しい。
実践的授業の内容	地域行政や地域連携の実際に関する講義から、グループワークで課題を抽出し、自分たちで調査することで実態の理解を深めたうえで、対応策などを発表する。
そ の 他	受講者の数により、授業内容「調査・研究発表会」は第 15 回のみとし、第 14 回は「発表準備」に変わる可能性がある。 また、今後の新型コロナウイルス感染症などの状況によって再度シラバスが変更される可能性がある。